

# 9月議会がはじまりました

9月2日(月)から尾張旭市議会9月定例会がはじまりました。

9月議会には市長提案の15議案、前年度決算認定8件、陳情4件などが議論されます。

内容について検討中のものが多いですが、注目している物を一部紹介します。

## 4医療機関から 県福祉医療制度存続 拡充を求める陳情

尾張旭市議会は6

月議会に「愛知県の福祉医療制度の充実を求める意見書」を全会一致で可決し、

県に提出しましたが、ほぼ同内容を求める陳情が市議会へ出されました。

陳情提出者は、森林公園通りクリニック(柏井町)、ほんじ眼科クリニック(緑町)、やすい医院(白鳳町)、やまうち内科(瀬戸市東横山町)の4医療機関(50音順)です。

## 医療機関がこのよ

うな陳情を市議会へ提出する例は尾張旭市では珍しいケースです。

## 保育園を

## さらに指定管理へ

既に方向性は市議会にも示されていた

ことですが、新たに東部保育園を指定管理者制度によって運

営する議案が出てきました。これが可決されると、尾張旭市内の保育園は、民営が3園、公設民営(指定管理者制度)と民間委託の合計が4園、公設公営が8園となり、以前指

## 保育園の指定管理 は問題あり

定管理者制度の導入が検討されていた当時、市が言っていた半分程度の保育園を民間事業者で運営する、という状況になります。

## 指定管理者制度は

「官から民へ」のかけ声で、それまで行政の仕事とされてきたものを、民間事業者に担わせる手法の一つとして編み出された制度です。

国からの公務員定数削減圧力のもと、職員を減らせれば、そ

れまでの事業を継続できないことも背景に、市は次々と指定管理者による運用を進めてきました。市施設の新池交流館ふらつとも現在指定管理者によって、運営されていますが、

昨年度までの指定管理者、ドルフィン株式会社社長が贈賄事件を起こしたことがきっかけとなり、今年4月から指定管理者が変わりました。

もし保育園の仕事を担う会社が同様の状況となれば、保育園に通う子どもたちもなんらかの影響を受けることとなりますし、そもそも自らの意志を表現する力が未熟な子どもたちが通う施設運営を指定管理者制度によって民間に任せるとは問題があると考え、党市議団は保育園での指定管理者制度導入を一貫して批判してきました。



## 9月議会

### 党議員団の質問項目 と 議会日程

#### 川村つよし議員の質問

(10日(月)10時半頃からの見込み)

- 減塩メニューを  
市内飲食店・事業所に広げよう
  - 貧困の連鎖・発生を防ぐ  
手立てとして検討を願うこと
- (1)生活保護世帯で暮らす  
子どもの推移について
- (2)能動的な若年層への支援について
- (3)義務教育期間中における  
学力の底上げについて

#### 議会日程

##### 本会議一般質問

6日(木)・7日(金)・10日(月)

福祉文教委員会 12日(水)

都市環境委員会 13日(木)...川村議員

総務委員会 14日(金)

##### 決算特別委員会

19日(水)・20日(木)・21日(金)

本会議 最終日 27日(木)

開始はいずれも 午前9:30~